

別記様式 1

会 議 概 要 書

審議会等の名称	平成 30 年度 第 2 回 磐田市環境市民会議
担 当 部 課 名	環境水道部 環境課
会議の開催日時	平成 31 年 3 月 7 日 (木) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 45 分
会議の開催場所	市役所西庁舎 3 階 304, 305 会議室
出席者 (職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 15 名 (出席者 14 名) 佐藤和美、杉浦 聖、松村啓子、鈴木弥栄子、石黒信子、山下千賀子 田中卓也、清水秀之、今泉佳代、中山隆司、鈴木正士 青木敬子、清 真人 (敬称略) (欠席者 1 名) 須藤 毅 (敬称略) ・ (事務局 4 名) 環境課長、環境保全グループ長、環境保全グループ 副主任 2 名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本方針 2 「豊かな自然を守ります」 ・ 基本方針 3 「自然・歴史文化とふれあう機会をつくります」 ・ その他 環境施策の実施状況
配 付 資 料 等 の 件 名	(1) 第 2 回磐田市環境市民会議席次表 (2) 第 2 回磐田市環境市民会議次第 (3) 第 2 次環境基本計画の基本方針に係る施策について (4) その他 環境施策の実施状況

<p>概 要</p>	<p>※会議の発言内容、審議経過等を記載</p> <p>会議（司会：伊藤グループ長）</p> <p>(1) 開会（伊藤グループ長）</p> <p>(2) 環境課長あいさつ</p> <p>(3) 会長あいさつ</p> <p>(4) 議事（議長：佐藤会長）</p> <p>①第2次磐田市環境基本計画の基本方針に係る施策について</p> <p>事務局は第2次磐田市環境基本計画の基本方針2及び基本方針3にかか る施策について説明しました。（資料①）</p> <p>《質疑・応答及び意見》</p> <p>【委 員】 松くい虫の被害木伐採事業において、被害が発見されてから伐 採するまでにかかる時間はおおむねどのくらいか教えてください。また、松くい虫防除の薬剤を空中散布していますが、健康被害があるとの話も聞きますので、費用対効果を教えてください。</p> <p>【事務局】 農林水産課の所管となる事業ですので、確認し後日お知らせし ます。</p> <p>【会 長】 目標2-1にある緑の基本計画は具体的にどんな内容ですか。</p> <p>【事務局】 都市整備課が担当し、平成20年度に策定されたものです。この 計画に基づいて公園緑地などの整備を行っています。詳細は磐田 市のホームページに掲載してありますので、ご確認ください。</p> <p>【委 員】 ベッコウトンボの頭数が減っているとの報告ですが、桶ヶ谷沼 の資料を見ますと周辺は森林に囲まれています。周辺の森林の整 備・保全をして水をきれいにしないと生態系も維持できないの ではないかと思います。</p> <p>また、磐田市全体を見た時、豊岡に森があり磐田原台地があり、 太田川や天竜川などの川が流れていますが、公園緑地だけでなく 身近な緑地から保全管理していく必要があると考えます。植樹し て80年、100年経っている木は伐採し利用して新しく植樹する などのサイクルを作っていないと、環境保全や地球温暖化の防</p>
------------	---

止のための CO2 削減なども実現できないのではないかと思います。

森が元気になれば、川に流れる水も良くなり川も元気になる、最終的には海も元気になる。森と海は繋がっているから、間に住む人間が両方に関わっていくと良いと思います。まずは現状の把握ができるような講演会などを開催してほしいです。現状を知ってもらう事が大事だと思います。磐田市全体を考えるシンポジウムのようなものを作って、市民みんなが山も川も海も含めて関わっていくことで、環境も良くなっていくと考えます。

【委員】 60年前くらいは山の景気が良く、木を伐れば売れました。当時は間伐材など山の木は燃料にも使っていました。山に人の手が入って、良い状態に保たれていました。ところが今は人件費が60年前の4倍、木材の価格が4分の1です。勘定が合わなくなり、山に手が入らないのが現状です。戦争時に木を沢山切ってしまったので、戦後に造林事業として杉をたくさん植えたのです。杉を植えたところには下草が生えず、山に保水力が無くなって災害に弱い山になっています。

【委員】 広葉樹が無い森にしてしまったので、下草が生えないのだと考えます。広葉樹であれば冬に葉が落ちて陽が入ります。落葉や下草がミネラルになり土を養い山が健康になります。まっ暗な下草のない山では、土が死んでしまっています。上から見れば森があるけれど、保水力のない死んだ森になっています。そうになると、大雨が降った時には簡単に地滑りを起こしてしまいます。全国的にそういった状況になっています。取りあえずの対策として、もともとあった山に戻すようなことをしないといけないと思います。針葉樹と広葉樹が混在している森にしていくって欲しいです。

【委員】 現状としては、1haの樹木を植えて育てると500万円位投資することになります。その木材を売っても300万円位にしかならない。皆伐してしまうとまた育てていかなくてはならない。そのために山を管理できないでいるのです。

- 【委員】 山の持ち主が分からないため、行政が勝手に切るわけにもいかず管理できないと聞いた事があります。
- 【委員】 静岡県の森づくり県民税で県民1人400円ずつ集め、森林整備の作業をやって来ていますが、まだ手がつかない所がたくさんあります。
- 【委員】 新しくできる静岡県の森林環境譲与税はどのように使われるのですか。
- 【委員】 基本的には市や町が行う森林整備に充てる予定です。
- 【委員】 個人の力ではできないので、行政に山を守る政策をやっていただきたい。
- 【会長】 環境市民会議から強い要望があったという事で事務局にお願いします。森林の管理がとても難しい事だと分かりました。それから、山と海と私達、三者の関係が実は一体化して考えていかなくてはいけないという事も大変参考になりました。
- 【委員】 敷地の獅子ヶ鼻公園で市内の事業者が植樹をしています。土が合わないのか、あまり育たないと聞きました。
- 【委員】 育たない原因は、カモシカが来て新芽を食べてしまうからです。
- 【事務局】 山林の保全ですが、中遠地域地下水利用対策協議会と、企業で組織する環境保全推進協議会が合同で敷地外4ヶ字財産区の協力を得て、年二回、間伐や植栽作業を実施しています。
- 【委員】 桶ヶ谷沼周辺も、地域の企業が環境保全に協力していると聞いています。市や事業者の活動をもっとPRしていいと思います。
- 【委員】 林業をやりたくて森林組合に就職した若者が、仕事が少なくて大変だと言っていました。林業に携わる人材を育てていく事も大切だと考えます。
- 【会長】 人材育成のため長期的な視点で子どもたちや若い人が山に親しみを感じられるような教育も必要と考えます。
- 【委員】 森林管理が一つの職場になるには、森林を使った事業をしなくてはなりません。バイオマス発電をしながら、植樹して育てて切って、という。行政と事業者とが一体となって行わなくては出来

ないと思います。

【委員】 住民が身近な木材を消費する必要があります。掛川市でそうした取り組みがあると聞きました。行政とのマッチングで地元の木材の需要が高まればいいです。磐田市にはそういった事業はありますか。

【事務局】 産業振興の分野になりますが、そういった事業は聞いた事はありません。ご意見として関係部署に伝えます。

【委員】 カラスの集団化の問題について、街中にカラスが出てきた理由を考えればよいと思います。身近にある森林の木を切ってしまいカラスの居場所が無くなっています。カラスは市街地の豊富なゴミを食べて増えています。木を伐り、ゴミを出しているのは人間です。根本の原因を考えずに野生動物がたくさんいると言って問題になります。結果だけを見ずに、原因にも目を向けてほしいです。

【事務局】 経済活動を優先するのか、自然環境を優先するのかという難しい議論になります。ここ最近、カラスは見付の富士見町周辺に集まっています。環境課では住民の生活環境保全も所管していますので対策として道路の清掃を行いました。ムクドリは豊田町駅の周辺に集まります。こちらは試験的に鷹による追い払いを実施しました。結果、一斉にいなくなり、その後大きな集団は確認されていません。市民の生活に影響があればその都度対応していきます。

【委員】 新しくできる公園に緑が少ないように感じています。それから、うさぎ山にある池で水も土も全部出して池の再生を図った事例があります。地域住民や子どもたちも参加して実施したという話を聞きました。そういった取り組みを市民に向けて紹介してほしいと思います。

【委員】 市内の公園でベンチが見えないほど草が伸びている所がありました。もっと整備していただきたい。

②その他 環境施策の実施状況

事務局から環境施策の実施状況について説明（資料②）

《質疑・応答及び意見》

【委員】 『環境基本計画普及版』で豊浜海岸の写真にあるものは、砂を戻すサンドバイパスのようですが、サンドバイパスによる環境に対する影響は把握していますか。

【事務局】 サンドバイパスは浅羽海岸を中心に貧弱になった砂浜への対策として静岡県が行っている事業です。太田川左岸に集積した砂を、地下を通じて浅羽海岸に送るための設備です。特に環境に被害が出ているという話は聞いていません。

【会長】 『環境基本計画普及版』について、環境の保全活動をしている様子をもっとたくさん掲載して紹介するといいと思います。

【事務局】 この普及版は簡単に手を加えることができるので、写真も変えることができます。ご意見を参考にさせていただきます。

【委員】 ベッコウトンボは桶ヶ谷沼で繁殖していますか。

【事務局】 繁殖を確認しています。毎年、発生数の調査を実施し 200 頭を目標にしていますが、平成 30 年度は 91 頭と少なくなっていました。これは、羽化が例年より早く調査した時にはすでにピークを過ぎていた為と考えられます。そのため平成 31 年度は調査日を少し前倒しにし、4月の 21 日と 29 日に実施する予定です。

【委員】 基本計画の方針に「暮らしやすさが実感できる環境をつくる」と記載されています。温暖化の問題もあり、地球環境を守っていくためには省エネやごみ減量などの不便な生活も受け入れていかななくてはいけないと思います。「暮らしやすさ」だけを表現していると、皆が問題に気付かず暮らしやすくていいなと見過ごしてしまう気がします。

【会長】 環境を守っていくために皆が協力していかななくてはいけない

という、負の側面も知らせるべきだというのは素晴らしい発想だと思います。

(5) その他（今後の日程について事務局より連絡）

(6) 閉会（環境課長）

